

2010年3月期 第2四半期決算説明

2009年11月9日



古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1. 2010年3月期(2009年度)第2四半期決算概要
2. 2010年3月期(2009年度)通期業績見通し
3. トピックス ～今後の事業戦略～

1. 2010年3月期(2009年度) 第2四半期決算概要

2009年度 第2四半期累計決算のポイント

国内アルミ圧延品需要は前年同期比で2割を超える減少
(1986年以来23年ぶりの低水準)

■売上数量が、前年同期比で約25%の減少

- ・夏の天候不順により、飲料缶材についても前年比微減
- ・機械向けなど設備投資関連品の回復先送り
店売り及びIT関連向け厚板が大幅減⇒但し直近は復調の兆し
- ・印刷需要が一転大幅減

■板圧延事業構造改革費用 特別損失20億円計上

- ・改革は計画通り進行⇒設備、建屋の廃却コスト等を引当て

2009年度上期連結業績(対前年同期)

(単位:億円)

	08年度上期 (A)	09年度上期 (B)		増 減 (B) - (A)
		09年度1Q	09年度2Q	
売上高	1,334	403	451	▲480
営業利益 又は営業損失	55	▲49	▲9	▲112
経常利益 又は経常損失	47	▲51	▲13	▲112
当期純利益 又は当期純損失	26	▲50	▲35	▲110

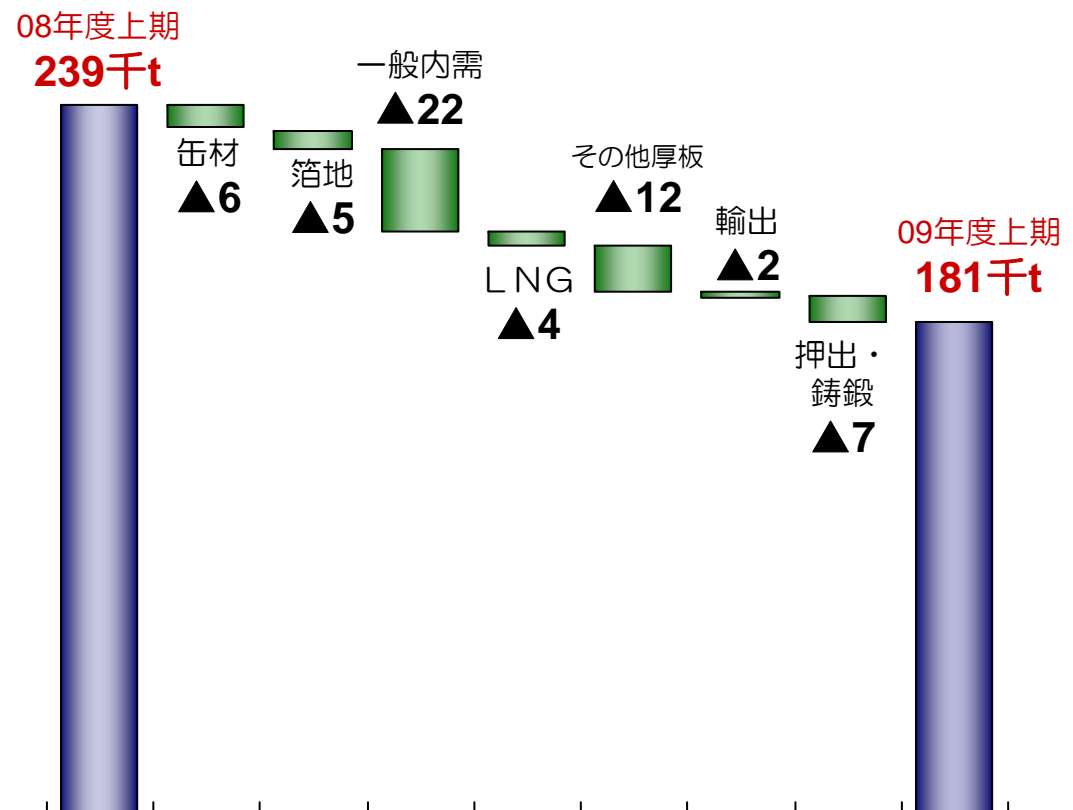
※09年度第2四半期、構造改革費用として特別損失20億円を計上

2009年度上期 品種別売上数量(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		08上	09上	
板	缶 材	66	60	
	箔 地	21	16	
	一 般 内 需	74	52	
	厚 板	LNG	7	3
		その他	20	8
輸 出	28	26		
計		217	167	
押 出 計		21	14	
鋳 鍛 計		1	1	
総 合 計		239	181	

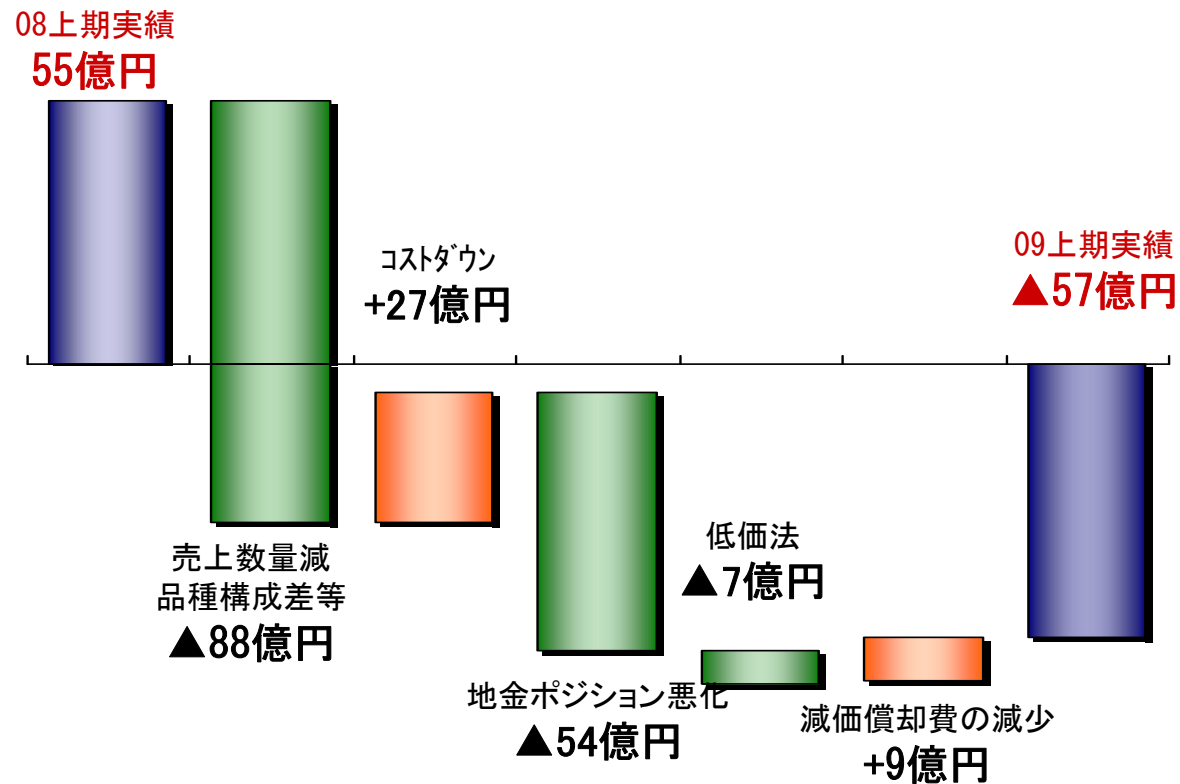
09上期売上数量増減内訳 (前年同期比▲58千t)



連結営業利益分析

[08年度上期実績→09年度上期実績]

08上期実績→09上期実績連結営業利益増減内訳(同期比▲112億)



連結貸借対照表

(単位:億円)

	09/3末	09/9末	増減		09/3末	09/9末	増減
流動資産	795	749	▲47	流動負債	845	802	▲43
現金・預金	36	36	1	支払手形・買掛金	278	305	27
受取手形・ 売掛金	401	483	82	短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	354	339	▲15
棚卸資産	272	188	▲84	その他	214	158	▲56
その他	86	41	▲45	固定負債	524	549	25
				長期借入金・社債	374	399	25
固定資産	1,141	1,101	▲40	その他	150	150	▲0
有形・無形固定資産	1,086	1,042	▲45	株主資本等	604	515	▲89
投資その他の資産	55	59	5	評価・換算差額等 少数株主持分	▲37	▲17	20
資産合計	1,936	1,849	▲87	負債・純資産合計	1,936	1,849	▲87

2. 2010年3月期(2009年度) 通期業績見通し

通期業績見通しのポイント

■ 売上数量

09年2月を底として、ほぼ全需要分野で需要は回復傾向
その中で、当社得意分野(印刷板、厚板)の回復遅れ
輸出関係で数量リカバリ

■ 損益

上期に比べ、下期は大幅改善ながら、当初見通しには未達

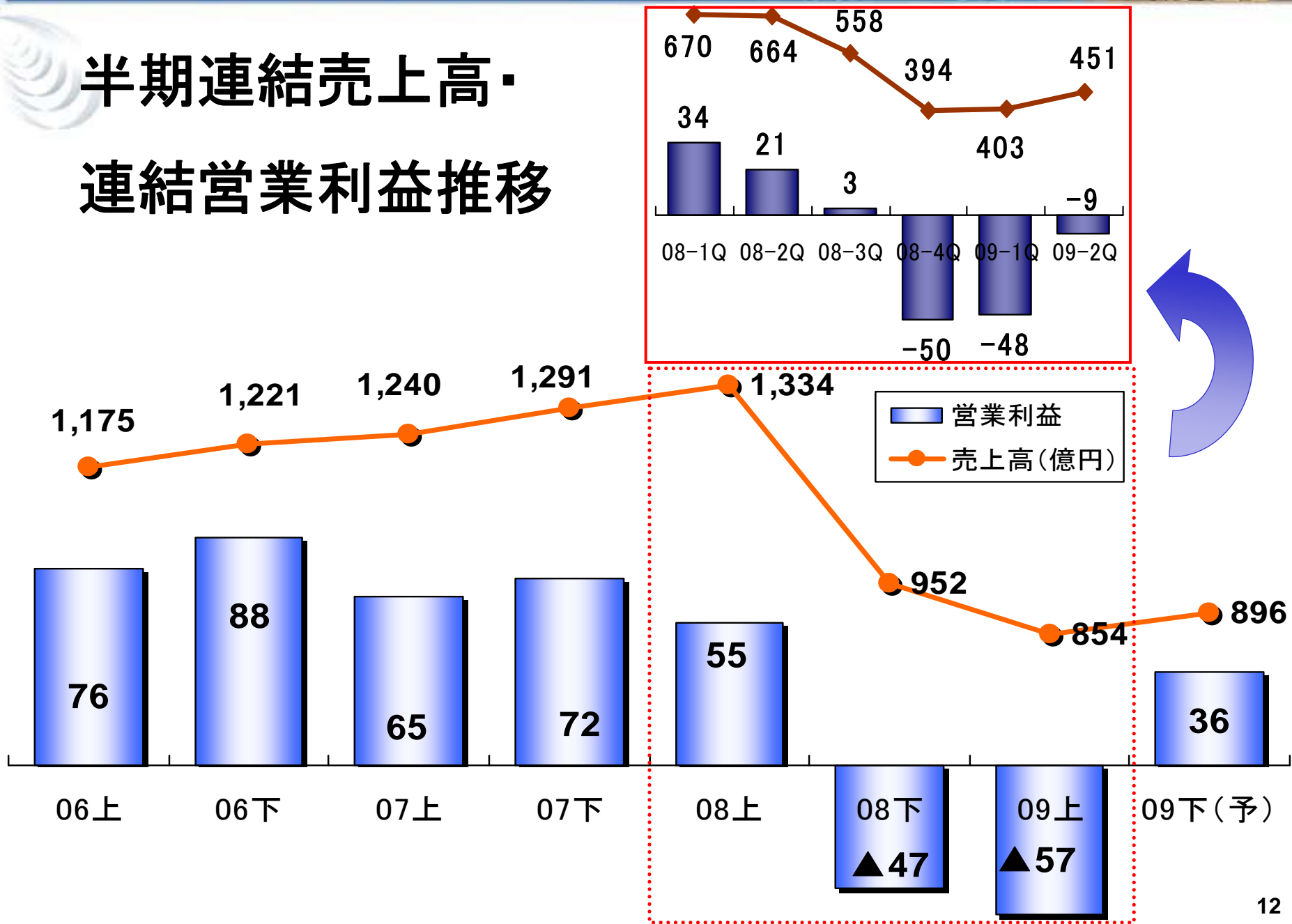
- ① 損益改善施策の追加でコストダウンは進展
- ② 売上品種構成の悪化(得意分野品の回復遅れ)
- ③ 地金ポジションの回復遅れ
- ④ 円高による輸出品の採算への影響

2009年度連結業績見通し

(単位: 億円)

	09年度期初見通し (A)		09年度見通し (B)			増減 (B)-(A)	
	上期	下期	上期	下期			
売上高	1,750	800	950	1,750	854	896	0
営業利益 又は営業損失	16	▲58	74	▲21	▲57	36	▲37
経常利益 又は経常損失	2	▲64	66	▲36	▲64	28	▲38
当期純利益又 は当期純損失	0	▲64	64	▲58	▲85	27	▲58

半期連結売上高・ 連結営業利益推移

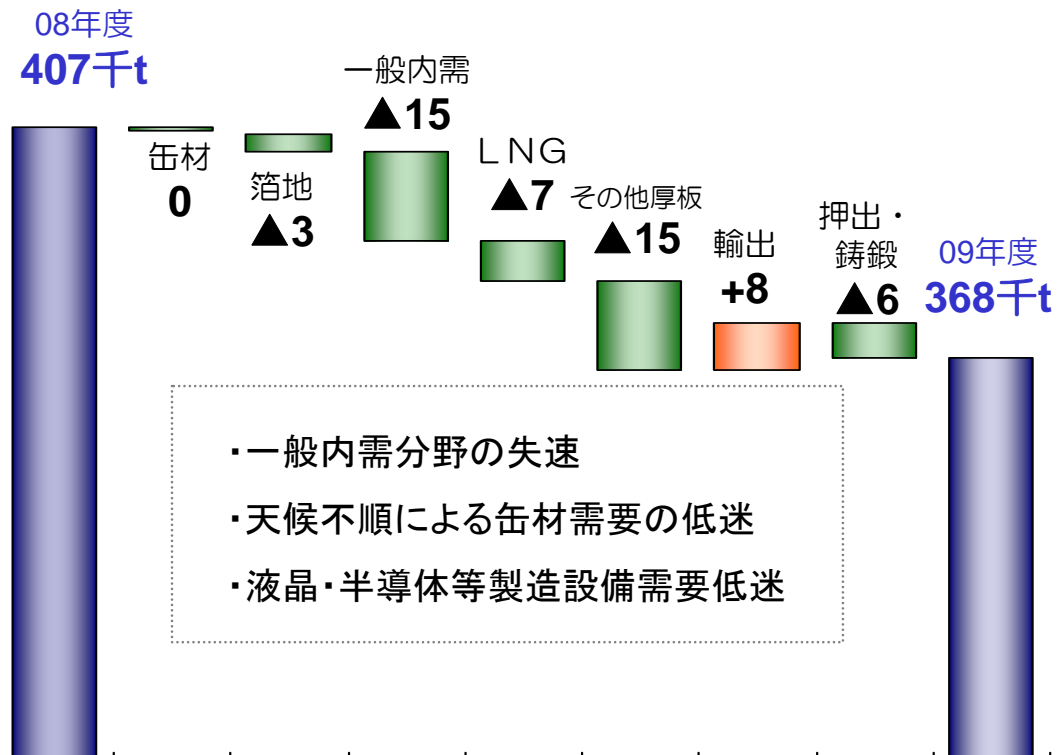


2009年度 品種別売上数量見通し

(単位:千トン)

品 種		08年度	09年度 見通し	
板	缶 材	112	112	
	箔 地	36	33	
	一 般 内 需	123	108	
類	厚 板	LNG	12	5
		その他	30	15
	輸 出	57	65	
計		370	338	
押 出 計		34	29	
鋳 鍛 計		2	1	
総 合 計		407	368	

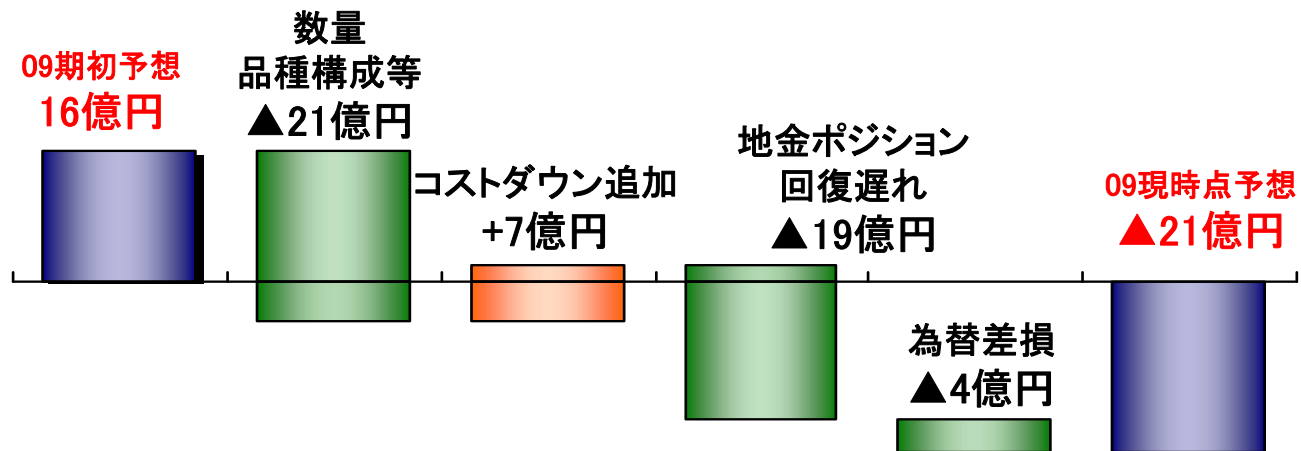
09年度売上数量見通し増減内訳 (前年同期比▲39千t)



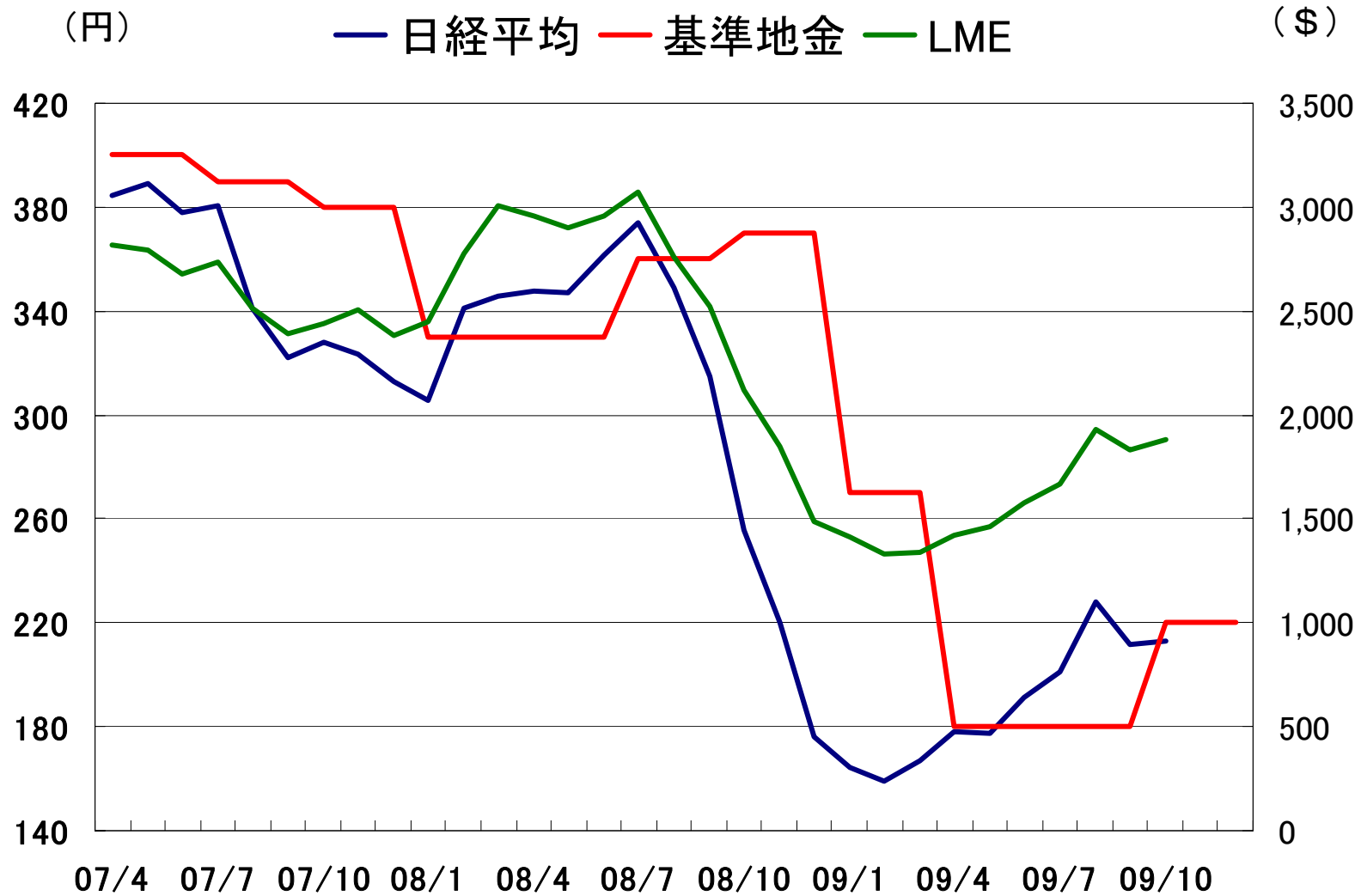
- ・一般内需分野の失速
- ・天候不順による缶材需要の低迷
- ・液晶・半導体等製造設備需要低迷

連結営業利益分析 (09年度期初見通し→09年度見通し)

2009年度連結営業利益期初見通し→2009年度連結営業利益見通し 増減内訳 (▲37億円)



アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移





諸元

	08想定	09期初想定	09現時点想定
原油(WTI)	115ドル	55ドル	70ドル
アルミ地金	300円	上期180円 下期230円	下期210円
為替	100円	95円	90円



3. トピックス

～今後の事業戦略～

3. トピックス

当社事業戦略～パラダイムシフトへの対応～

■国内需要変化への対応

⇒板事業構造改革の実施

日光工場の縮小と、カラーアルミ生産体制見直し

■国内成長マーケットへの積極対応

⇒箔製品事業の強化・・・電池、IT

日箔完全子会社化、箔事業部新設

■グローバル成長市場への対応

⇒既存投資事業の状況

生産スリム化と、需要回復への対応

⇒中国マーケット向け生産体制の整備拡充

生産拠点の設立(JV)・・・押出とのタイアップ

国内需要変化への対応・・・板圧延事業構造改革

日光工場縮小

1933年操業開始～圧延設備老朽化

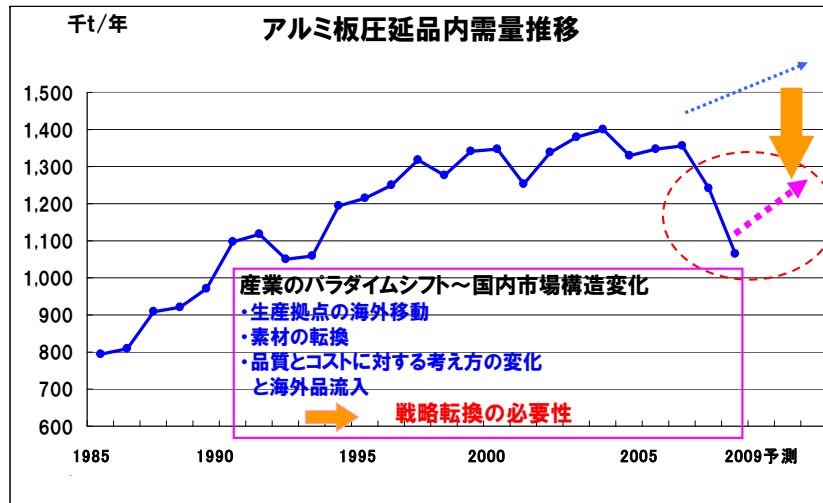
- ・近代化
(精度、パワー)
- ・供給中止部品の交換

維持更新
のコスト増大
想定 70億円
(今後5年間合計)

構造改革

- 1) 過剰設備休止
- 2) 維持コストの有効活用

2009年度
特別損失引当
▲20億円



需要構造変化に
則した体質強化
・コスト競争力
の強化
・品質向上/
先進技術の取込

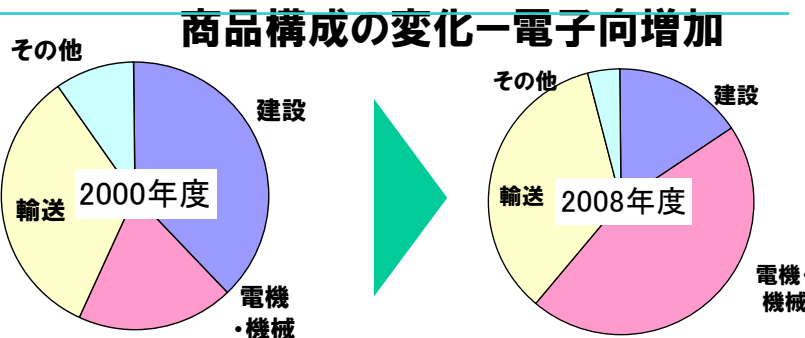
構造改革の
利益貢献
30億円/年

ライン高速化対応
/ 素材開発一体化

- ・塗装仕様の変化
膜厚薄、1コート
- ・環境対応

深谷工場への
移管と
製造スリム化

カラーアルミ



国内成長マーケットへの積極対応～箔製品事業強化

日本製箔株式会社

2009/11月～

～2009/5月

2009/10月

当社持株比率 41%

TOBによる100%子会社化

東証二部上場

上場廃止

日本製箔株式会社

連携強化

古河スカイ株式会社
Furukawa-Sky Aluminum Corp.

製板事業部

押出加工品事業部

鋳鍛事業部

古河スカイ
(新設)箔事業部

●電池、IT分野(ICタグ、コンデンサ等)など
伸びる分野への対応強化

>古河スカイブランド強化

>研究開発の体制強化

>人材交流の促進、弾力的投入

●経営効率化の促進

>原材料共同購買、

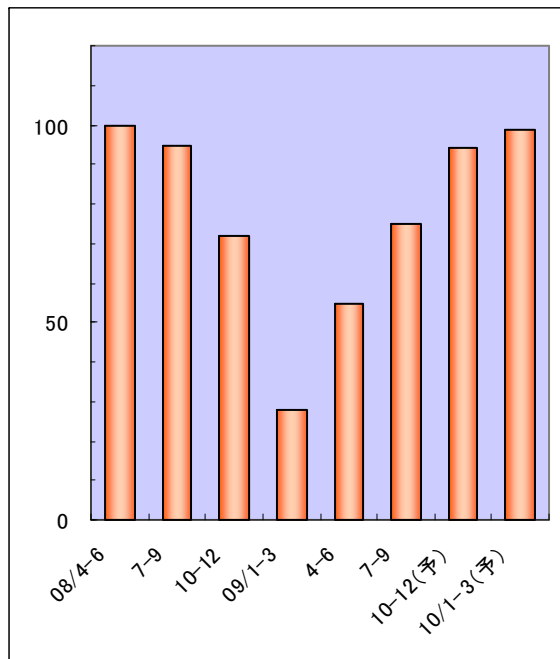
資材/ファイナンスの一体化推進

シナジー効果
顕現の促進

グローバル成長市場への対応① 既存投資事業の状況

Furukawa Indal Aluminum (インドネシア) 自動車熱交換器用押出材

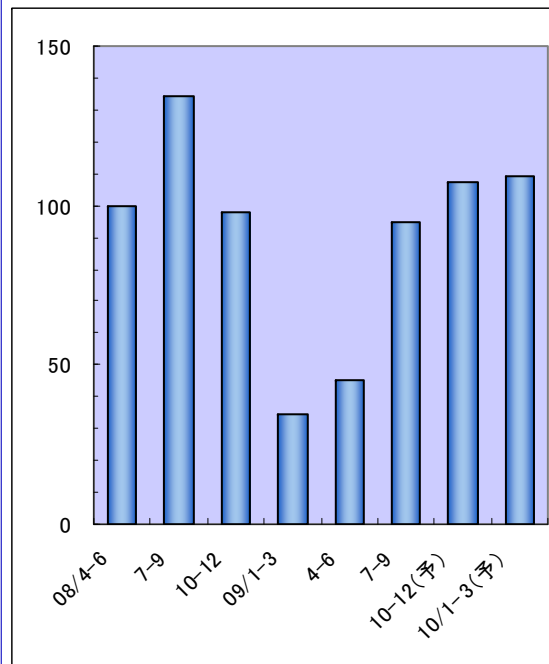
売上数量 (指数; “08/4-6”数量=100)



- 2Q(4-6月)より急回復
- 主力のタイ向に加え、インド、ブラジルなど新興国向好調

古河スカイベトナム(ベトナム) ターボチャージャー用コンプレッサーホイール

売上数量 (指数; “08/4-6”数量=100)

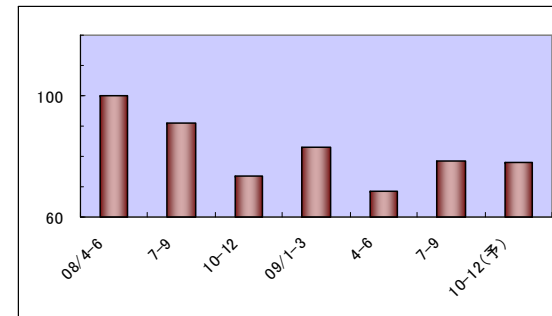


- 主力の欧州向が回復
- 製品機械加工への進出

2008年新規投資先

1. ブリッジノース社(英国=板圧延)

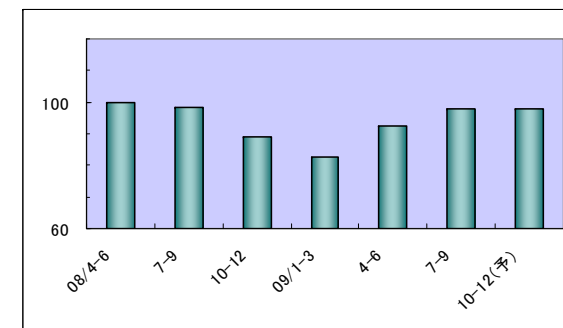
売上金額 (指数; “08/4-6”金額=100)



- 欧州印刷市場が打撃を受けるも、2Q以降需要は回復基調(数量ベース)
- 印刷のほか、箔地も拡販

2. チョイル社(韓国=キャスト圧延)

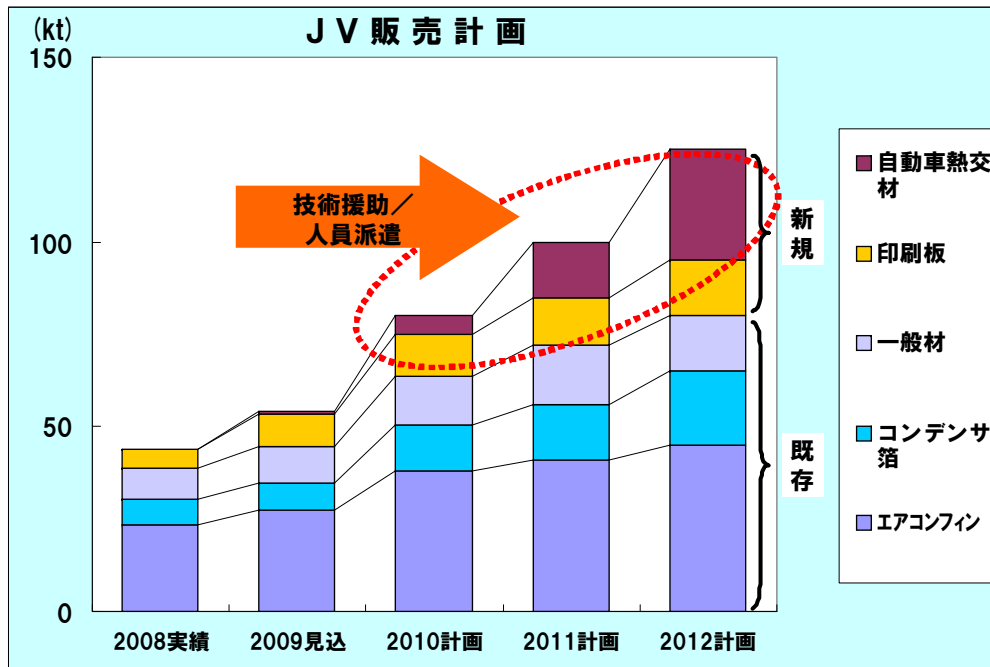
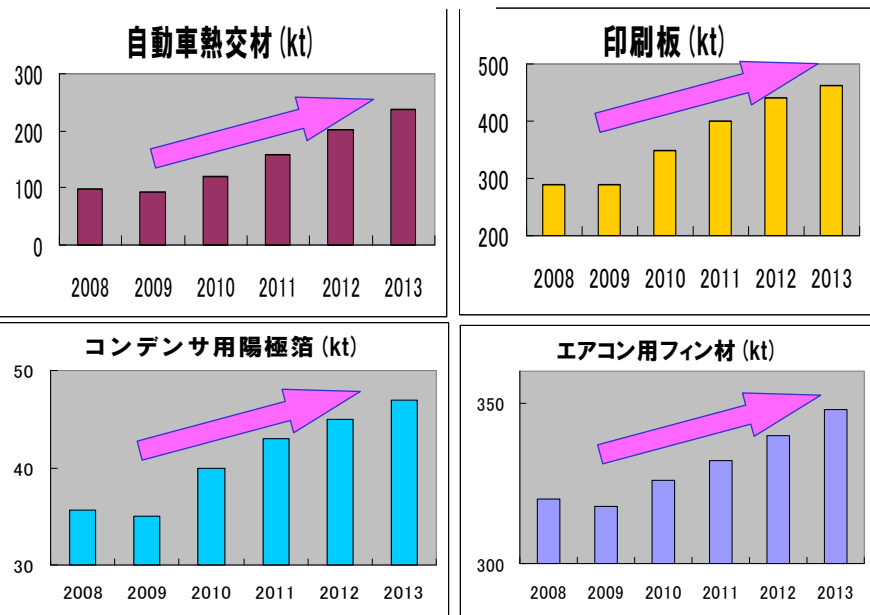
売上金額 (指数; “08/4-6”金額=100)



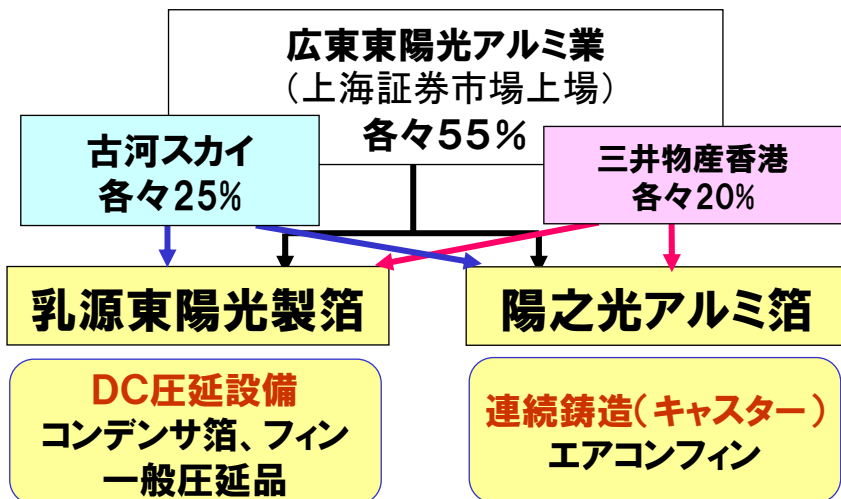
- ウォン安により、中国向輸出競争力強まる

グローバル成長市場への対応② 中国生産体制整備拡充

中国アルミ板圧延マーケットの拡大



投資対象会社の概要



<ターゲット品種>
自動車熱交製品の新規獲得
=天津FSATとのタイアップ

↓

板材・押出材の同時拡販の実現

- ・日系現調化ニーズへの対応
- ・ローカルマーケット対応

■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)